

JAL とワンワールド アライアンスメンバーは 米国サンフランシスコ国際空港において SAF を調達します

～2024 年からサンフランシスコ発定期便に搭載します～

2021 年 12 月 1 日
第 21082 号



AEMETIS



Aemetis 社建設予定プラント(イメージ図)

2021 年 11 月 30 日、JAL とワンワールド アライアンスメンバーであるアラスカ航空、アメリカン航空、ブリティッシュ・エアウェイズ、キャセイパシフィック航空、フィンエアー、イベリア航空、カンタス航空、カタール航空は、米国カリフォルニア州にある再生可能燃料製造会社の Aemetis Inc.(アメティス)社(*1)から SAF (Sustainable Aviation Fuel)を購入する意思を共同で表明しました。米国サンフランシスコ国際空港において、2024 年からの 7 年間にアライアンス全体で合計約 130 万キロリットルの SAF を調達する計画で、同空港発の JAL 定期便に搭載する予定です。

ワンワールドは昨年 9 月、世界規模のアライアンスとして初めて「2050 年までに CO₂ 排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの達成」を共通目標として掲げ、連携して取り組んでいます。SAF は原料収集・生産・燃焼までのライフサイクルにおいて CO₂ 排出量を従来の燃料より大きく削減することができるため、カーボンニュートラルを実現する上で必要不可欠なものです。アライアンスとしての SAF の調達も初めての取り組みであり、今回の発表は SAF の開発・製造の促進につながるものです。

JAL は、2021-2025 年度 JAL グループ中期経営計画(*2)において、2050 年のカーボンニュートラルの達成に向け、2025 年に全燃料搭載量の 1%、2030 年に 10%を SAF に置き換えることを発表しています。Aemetis Inc.社からの調達は目標達成に向けた一歩ですが、今後も世界中で SAF の調達を目指し、ワンワールドでの活動を加速していきます。

また、国内では ANA 社(*3)をはじめとした関係者と連携し、SAF の普及に向けて取り組んでまいります。

(*1) Aemetis Inc.社

2006 年に米国カリフォルニア州で設立され、同州にてエタノールおよび動物飼料を製造、また、インド東海岸にてバイオディーゼルのグリセリン、食用油などを製造。再生可能エネルギーと廃材を用いて低炭素排出を実現することをミッションとする。

(*2) 2021 年 5 月 7 日付プレスリリース 第 21012 号『2021-2025 年度 JAL グループ中期経営計画を策定』

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202105/006065.html>

(*3) 2021 年 10 月 8 日付プレスリリース 共同リリース『ANA と JAL、2050 カーボンニュートラルに向けた SAF (持続可能な航空燃料)に関する共同レポートを策定』 <https://press.jal.co.jp/ja/release/202110/006263.html>



以上